

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

鹿

鹿屋市出身で、現在東京で自営業を営んでいる兼業主婦です。広報かのやの特集に、母が「載ったよー」と嬉しそうに送ってきて、私までとても嬉しくなりました。自営の店舗で、鹿屋の紅はるか、蜂蜜などを販売しており大変好評です。これからも鹿屋の特産品を増やしていきたいらと思っております。食べ物がおいしく、自然も豊かで人も優しい鹿屋が大好きです。(大浦のコスモスさん・女性)

東京の地で鹿屋の特産品を扱っていただき、ありがとうございます！大浦のコスモスさんが獲得いただいた鹿屋のファンが至る所で育ち、鹿屋のばらのように大きな花をつけ、東京で鹿屋ブームが起きるかも、と期待するところです。広報かはやはこれからも頑張っている方や素晴らしい取り組み、魅力的な活動をしている人々を数多く取材し続けていきます。

以

前、鳴之尾牧場で子どもたちが一緒にバーベキューをしたことがあります。下の子と牧場近くの滝に行つたのですが、今でも行くことができるのでしょうか。勘違いだったかな？歩く長さもちょうど良くて、滝の大きさもグッドでした。行けるんだつたらまた行きたいです。今度は孫と！(N・Kさん・女性)

鳴之尾牧場のバーベキュー施設については、昭和60年にオレンジ屋根の研修館と共に設置されました。近年は家畜伝染病の防疫対策のため、施設の貸出等が行われておりませんが、見晴らしも良く、自然を満喫できる施設です。近くの滝は「白滝」で、鳴之尾牧場から1.8km、徒歩約40分の道程です。遊歩道が整備されていますが、途中ロープを伝って渡る道などもあるようです。道中にあるいくつかの小滝と落差62mの白糸を引くきれいな滝は必見です。N・Kさんもぜひ再訪されてください！

今

年は8・6水害から30年とか。月日が経つのは本当に早いもので、忘れてしまうことも時にはあります。テレビ放送で鹿児島市内の様子が放映されたり、ラジオでも放送されたりするたびに、水の恐ろしさを感じたものです。忘れてはいけない出来事ですね。あの恐ろしさを味わいたくないので、今年も家の周りには気を配りたいと思います。(T・Mさん・女性)

鹿児島市を中心に被害があった8・6水害は、始良市・霧島市を中心に被害があった8・1水害と合わせた一連の豪雨災害として、平成5年8月豪雨と呼ばれています。また同年9月3日には観測史上3番目に中心気圧が低い台風13号が薩摩半島南部に上陸しており、この夏は本市も含め、県内各地に大きな災害被害をもたらしました。災害に備えることは何より重要で、被害を最小限に食い止めるためには、自分の命は自分で守る「自助」、互いに助け合う「共助」、国や自治体等が取り組む「公助」がそれぞれ重要になってきます。防災対策に「絶対に大丈夫」というものはありません。市が発行している「鹿屋市防災マップ」等を活用して、ご家族等で災害リスク等を認識し災害時にとるべき行動を考え、防災・減災にぜひ役立ててください。

結

婚式に招かれて、友人の人生の門出をお祝いしました。約5年ぶりの結婚式への出席であり、服装やご祝儀など「あれ？これでいいんだっけ？」と戸惑うことばかり。新郎新婦と同じくドキドキしながら式がスタートしましたが、始まってしまえば、歌あり、涙あり、笑いあいの最高の結婚式でした！お二人のこれからの人生に幸あれ。(Y・Jさん・男性)

多くの人々の笑顔に囲まれ、未来への決意と希望に満ち溢れた新郎新婦。結婚は人生のハイライトの一つですが、多くの準備や戸惑い、苦労もあります。でも大変だからこそ結婚式は素晴らしい思い出深いものとなるのではないのでしょうか。本市では、市内に転居される新婚等世帯に対する引越費用等を補助する「結婚新生活支援事業」などにより新生活を応援しています。

フォトネタ！



ばら園内の彼岸花

9月の初旬から中旬にかけて見頃を迎える彼岸花。赤色の彼岸花のほか、淡い赤や黄色の変わり種品種も、数は少ないですが来園者の目を楽しませています。